

たの

議会だより

令和7年9月
議会定例会

No.204
2025.10.31

高知県 田野町

大地と未来を耕す！

農事法人『大野台地』

(関連ページ P2)

町の財政、徹底解剖！

6年度決算

(関連ページ P4)

《特集》農事組合法人『大野台地』	2
令和6年度決算	4
第8回9月議会定例会	8
第5～7回議会臨時会	11
町政のここを問う！（6議員が一般質問）	12
議会のうごき	19

《特集》 農事組合法人『大野台地』

“地域農業の維持発展・豊かな自然環境を未来につなげる”ことを目的に、令和7年5月に設立されました。

かつて“水ない、^き薪ない、情けない”と、盆おどり唄にも
^や擲^ゆされた大野開拓集落

大野台地は、桑・麦・大根・さつまいも・さとうきび畑から
びょうびょうたる水田地帯に変貌しました。

本年度、大野地区に農事組
合法人が発足し、日々活動に
取り組まれています。

本日は、代表理事である安
岡和志さんに意気込みをお聞
きします。

問 法人設立の経緯を教えてください。

答 主に水田のあぜ塗りで活
動していた「東大野集落営農
組織」が前身となっています。
任意団体だと農地貸借におけ
る信用性や、事業の収益化に
つながらず、持続可能性の観
点からも法人化した方がよい
だろうという判断になり、法
人を設立することになりました。

問 どのような活動をしていますか。

答 集落営農組織時代から
行っていた水田管理や、牛用
の飼料イネ（WCS）の栽培
をしています。

また、本年度からはふるさと納税用のお米も作り始めました。

問 活動するうえで悩み事や困り事がありますか。

答 何より人手不足ですね。
今年は8ha80筆で管理をして
いますが手一杯です。
忙しい時はアルバイトも雇
いますが、その分利益が出な
くなるので悩むところです。

問 利益をあげるための取り組みはありますか。

答 田野町の税收にもつなが
るので、ふるさと納税用のお
米の栽培に力を入れたいで
す。

ただ、WCSの栽培もおろ
そかにはできないので、WCS
の苗を起こし、10aあたりの
収量を増やすことも考えて
います。

問 環境面での悩み事はどうでしょうか。

答 大野だけでなく田野町全
体の話になりますが、基盤
整備が課題かなと思います。



WCSとは、稲穂と茎葉をまるごと刈り取ってロール状に成型したものをフィルムでラッピングして乳酸発酵させた牛の飼料です。



大野台地の歴史・文化・農業等を次世代につなげる



田野町はひとつひとつの田畑の面積が小さいので、それぞれ土地を広げることができれば効率よく活動ができると思います。

問 今後どのようなことを目指していますか。

答 まずは法人として安定した経営を目指しています。もし、最終的にマイナスの収支になったら法人の役員で補わないといけないので、そこは避けたいですね。

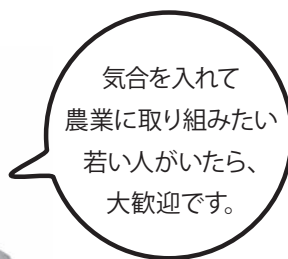
将来的には、農業機械の共同利用にも取り組んでいきたいです。現在も行っているのですが、稲作用機械そのものが寿命になっているので投資は考えたいですね。

問 田野町や田野町議会に期待することを教えてください。

答 国や県からの施策があればぜひつなげてほしいです。今後はいろんな意味で苦しくなるので少しでも補助や支援があれば活用させてもらいたいです。



代表理事 安岡和志さん



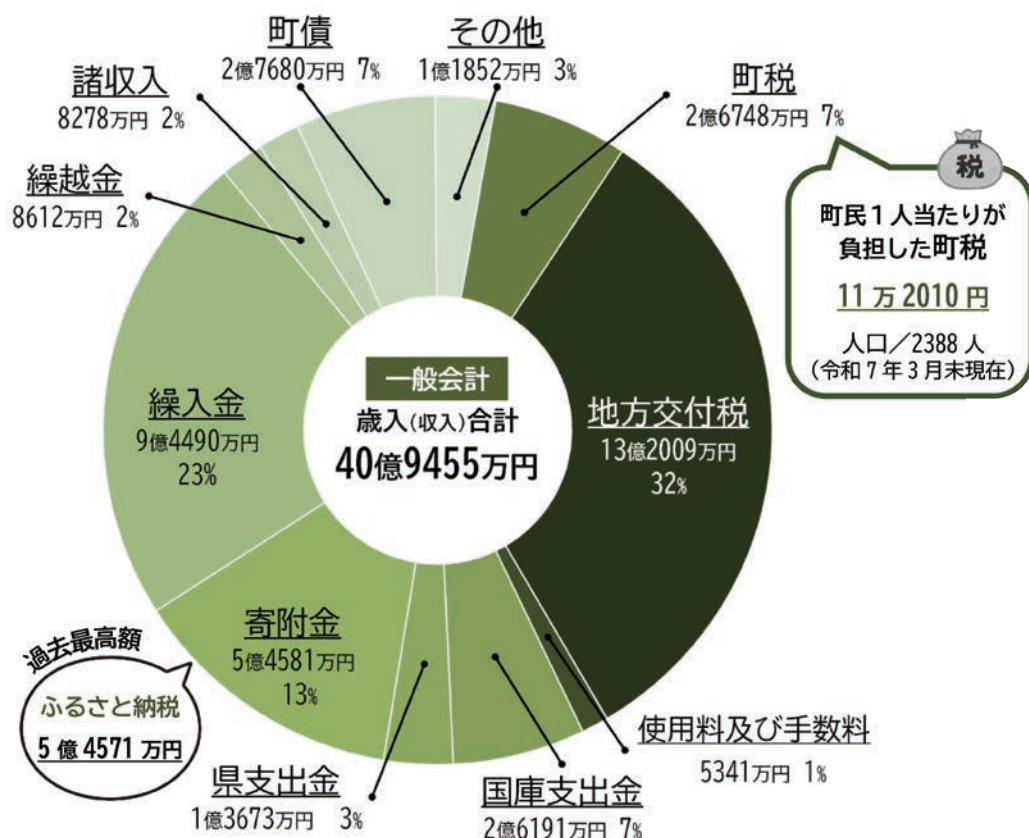
議会に対しては、将来どういう田野町を作りたいかビジョンを持って取り組んでもらいたいですね。

ありがとうございます。最後に一言お願いします。

一般会計・特別会計 合わせて

総額 44億6742万円 支出

(第8回)
9月定例会
9月9日～12日



9月議会定例会は、9日から12日までの会期で行いました。町長の行政報告後、議案の審議を行い、決算委員会審査・審議等を行いました。一般質問は6議員が行い、道の駅の構想や二十三士公園の管理についてなど、町の考えを問いました。

一般会計決算概要

歳入では、町税が前年度比0・4%減の2億6748万円、一般財源の主となる地方交付税は前年度比1・3%増の13億2009万円、地方債については「道の駅田野野駅屋駐車場拡張事業」などにより前年度比18・3%増の2億7680万円、まちづくり応援寄附金前年度比53・5%増の5億4571万円となりました。

歳出では、町道中央線改良工事などにより土木費が前年度比23・0%増の2億2728万円、公営企業会計移行に伴う出資金等により衛生費が前年度比22・3%増の3億7961万円、繰上償還による公債費10・6%増の5億7718万円となりました。

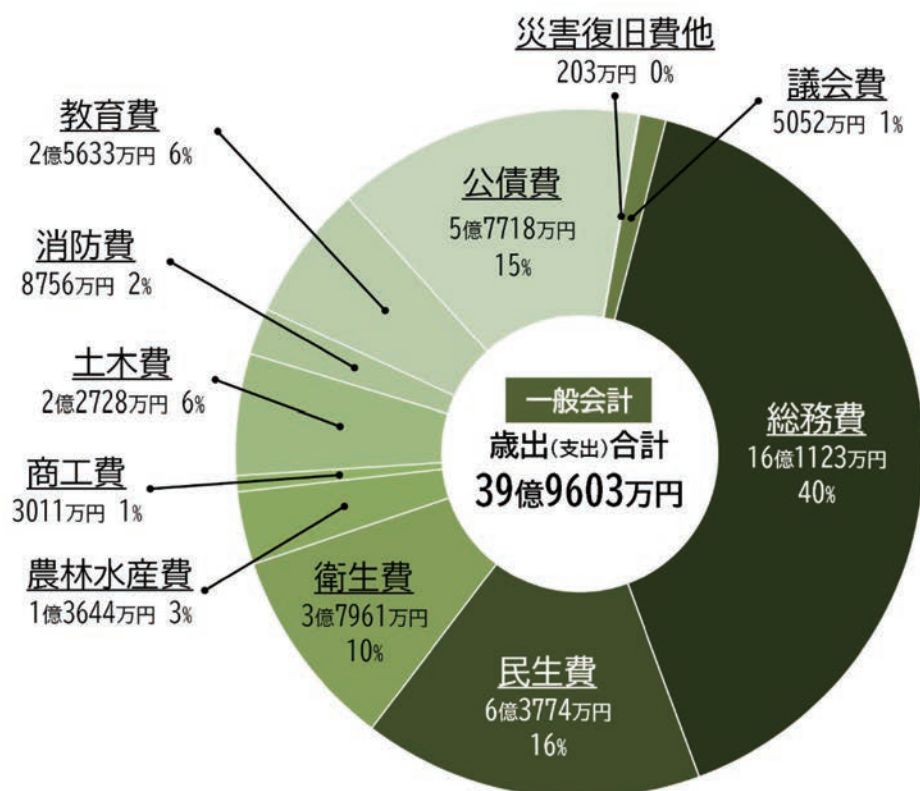
また、人件費・扶助費・公債費などの義務的経費が前年度比4・5%増の12億3188万円となりました。

会計別の決算状況

会 計		歳入(収入)	伸び率	歳出(支出)	伸び率	差引残額
一 般 会 計		40 億 9455 万円	1.0%	39 億 9603 万円	0.7%	9852 万円
特別会計	国民健康保険	4 億 1767 万円	8.3%	4 億 1766 万円	8.3%	1 万円
	後期高齢者医療	5446 万円	2.5%	5373 万円	1.1%	73 万円
合 計		45 億 6668 万円	1.6%	44 億 6742 万円	1.3%	9926 万円
簡易水道 事業会計	収 益 的	8508 万円	-	8131 万円	-	377 万円
	資 本 的	1 億 5320 万円	-	9033 万円	-	6287 万円

令和6年度 決算認定

私たちの税金は どう使われた!!



町民1人当りに
使われたお金

167万3380円

議会費	2万1156円
総務費	67万4720円
民生費	26万7060円
衛生費	15万8966円
農林水産費	5万7136円
商工費	1万2609円
土木費	9万5176円
消防費	3万6667円
教育費	10万7341円
公債費	24万1700円
災害復旧費他	850円

人口/2388人
(令和7年3月末現在)



※各項目で、万円以下・小数点以下は四捨五入しています。

用語解説

地方交付税

どの市町村でも同じように行政事務ができるよう、国税の一定割合を一定の基準により国が市町村に対し交付するお金。

町債

町が事業を行う費用を調達するため、国や金融機関から借り入れた借金。

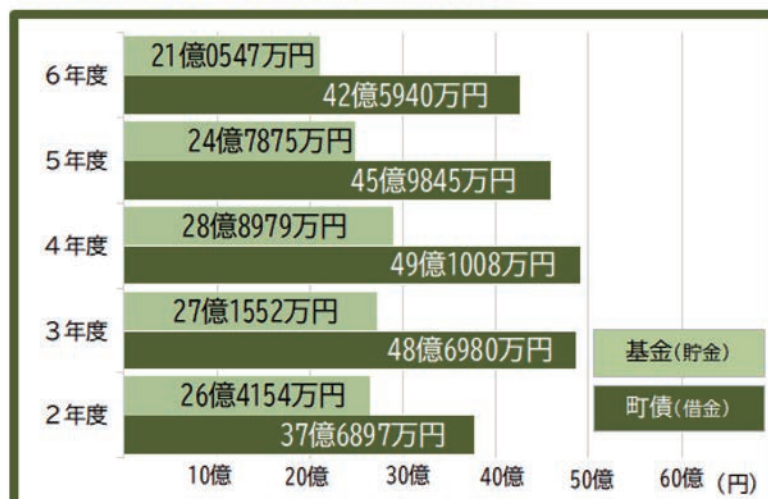
公債費

町がこれまで借り入れた借金に対する返済金。

基金

町の貯金のことによって決まった目的のため、また財源不足への対応のために積み立てられ、合計15種類の基金がある。

基金(貯金)と町債(借金)の残高



令和6年度成果 主な事業は

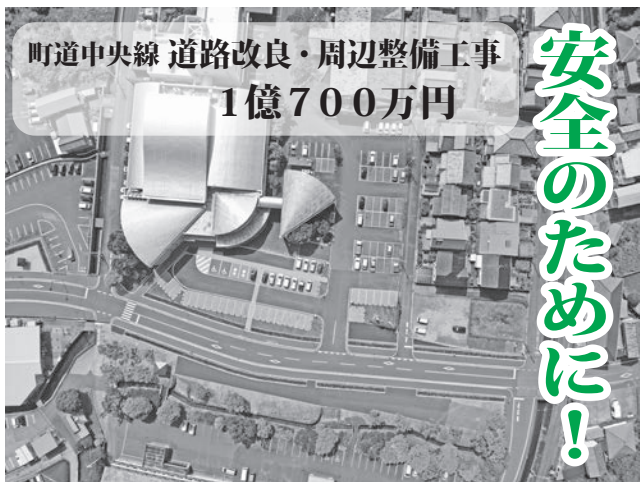
応援に感謝！

ふるさと納税寄附金
5億4571万円



町道中央線 道路改良・周辺整備工事
1億700万円

安全のために！



地域振興商品券 1151万円

地域振興に！



田野駅屋 駐車場拡張工事
1456万円

さらに便利に！



移住促進住宅建設

空き家改修

移住促進に！

建設・改修工事 8545万円



決算委員会審査

予算は適切に
執行されたか、チェック



質問 答 弁

【主な質疑を掲載します】



問 保健センター使用料355万円の、主な使用料のウエイトの高いものは。

答 中芸広域連合に負担を求める、賃貸借料・光熱水費・施設維持管理にかかる冷暖房の保守点検料が主なものである。

問 財産管理費、上ノ岡団地の買戻返還金152万円とあるが、買い戻した後の土地はどのようなになっているのか。

答 再募集を行い、売買契約が成立している。



伝統の田野中学校茶摘み

問 中学校茶園の売払収入11万円とあるが、販売以外で田野町のお茶をPR等を兼ねて配った事例はあるか。
また、ふるさと納税で販売できるような仕組みはつくれないか。

答 現在中学生30人程度の作業状況では、通常授業との兼ね合いもあり、販売用の製茶作業でいっぺいであり、PR用等は現状では難しい。

問 レンタサイクル運営管理委託料24万円とあるが、年間の利用実績は。
また観光施策に反映できているか。

答 昨年度の使用実績は、6件と少ない状況である。今後は龍馬パスポート参加施設への参加を検討し、利用増に取り組む。



問 樹木伐採等委託料359万円の委託場所及び委託内容の確認方法は。

答 町有地の維持管理委託で、場所は、二十三士公園・憩いの道・立岡二号棧道の草刈りを委託し、確認方法は成果品の提出を求め作業日誌や、作業・完成写真で管理している。

問 中芸ゆずと森林鉄道日本遺産協議会負担金562万円は高額だと思うが、観光振興につながった実績は。
また、当町からの要望は行っているのか。

答 負担金額に対して効果が見えにくい部分がある。関係機関と連携し、事業効果が分かりやすくなるよう当町としても要望する。

問 夏休みの小学校プール開放時の監視員報酬21万円とあるが、利用人数は。

答 延べ利用人数が413人。日数で15日解放し、1日平均36・7人の利用となっている。



委員会審査報告書

審査日程 9月10日(1日間)

審査結果 原案どおり認定すべきものと決定

総務教育常任委員長 中野益夫
まちづくり厚生常任委員長 神山大亮



補正予算

ふるさと納税関連で3億円を追加補正

ポイント廃止に伴う駆け込み需要に対応

令和7年10月からふるさと納税のポイント還元が廃止されるため、制度改正前の9月に駆け込み需要が見込まれており、返礼品などの必要経費と積立金を補正計上します。

◆ 令和7年度 一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出総額 36億3920万円 補正額 3億1690万円増

補正の主な内容

歳入	寄附金（まちづくり応援寄附金）	2億円
	基金繰入金（ふるさと応援基金ほか）	1億217万円
歳出	ふるさと納税推進費（返礼品ほか）	1億円
	財産管理費（ふるさと応援基金積立金）	2億円
	防災諸費（防災備品の購入）	496万円



問 猫の不妊・去勢手術費補助金 20万円の内訳は。

答 オス猫 8,000円 / 頭、メス猫 12,000円 / 頭で、各10頭分です。



問 中野集会所にエアコンが設置されるが、エアコンの設置や修繕が必要な集会所は、把握しているか。

答 2地区から修繕等の依頼はきている。町内で、中野集会所のみエアコンが設置されていなかったため、取り急ぎ施工する。ほかの集会所については、状況の把握とルール作りを行い、当初予算で予算要求をしていく。

◆ 令和7年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出総額 3億9924万円 補正額 544万円増



◆ 令和7年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出総額 5841万円 補正額 251万円増

子ども・子育て支援金制度創設に伴い、システム改修を行います。

人事

監査委員の選任と教育委員会委員の任命が同意されました

監査委員の選任

はまおか ひろし
濱岡 洋 氏（再）

任期 自 令和7年10月1日
至 令和11年9月30日



教育委員会委員の任命

たけざき よしひで いわさき のぶひろ
竹崎 義秀 氏（再）・岩崎 暢洋 氏（再）

任期 自 令和7年10月1日
至 令和11年9月30日



報告

◆ 専決処分の報告 〈損害賠償の額を定める〉

町道大野2号線を走行中の車両が、グレーチングのふちに右前輪が乗った際、グレーチングが跳ね上がり、車体下部が損傷しました。 損害賠償額 28万7439円(全額、保険適用で対応)

◆ たの未来プロジェクト株式会社経営状況の報告

令和6年度の売上高は2億6140万円(前年度比106万円増)で、営業利益は338万円の黒字となっています。

◆ 健全化判断比率及び資金不足比率の報告

令和6年度決算では、すべての比率が基準を下回り、財政は健全となっています。

実質公債費比率とは、実質的な公債費相当額の標準財政規模に対する比率の3か年平均値を表すものです。令和6年度の6.5%は、早期健全化基準の25%を下回っており、財政運営上、問題はありますが、令和5年度から1.6ポイント悪化しています。

令和6年度決算の財政指標

健全化判断比率	令和5年度	令和6年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	15%
連結実質赤字比率	—	—	20%
実質公債費比率	4.9%	6.5%	25%
将来負担比率	—	—	350%

比率名	令和5年度	令和6年度	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20%



定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧表

件 名 (概要)	議決 結果	賛 成	反 対	採決状況 (○賛成 ×反対 *欠席)										
				中 野 益 夫	山 崎 豊 子	村 田 秀 作	神 山 大 亮	山 本 美 園	安 岡 敦 徳	桑 名 良 学	中 澤 長 顯	西 岡 恒 雄	小 笹 孝 彰	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (妊娠・出産を報告した職員の希望に合わせ育児を支援します。)	原案 可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
田野町水道条例の一部を改正する条例 (災害後に、宅内配管の復旧を早期に行えるよう改正します。)	原案 可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度田野町一般会計歳入歳出決算の認定 (詳細 4～7ページ)	認定	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長は採決に加わらない
令和6年度田野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 (詳細 4～7ページ)	認定	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度田野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 (詳細 4～7ページ)	認定	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度田野町簡易水道事業会計決算の認定 (詳細 4～7ページ)	認定	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度田野町一般会計補正予算(第5号) (詳細 8ページ)	原案 可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度田野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (詳細 8ページ)	原案 可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度田野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (詳細 8ページ)	原案 可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
《陳情》消費税減税、インボイス制度廃止を求める意見書採択の お願い (陳情者 高知県商工団体連合会ほか)	不 採択	4	5	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	



坂本正徳 町長

地震津波防災訓練

8月31日に地震津波防災訓練を行いました。



地震津波防災訓練

今年は、「自助・共助・公助の再認識」を目的として、第1部をシェイクアウト訓練及び津波避難訓練とし、第2部は共助をテーマとした中芸高校全校生徒をはじめ自衛隊

員や地域住民の方々による「避難所運営ゲーム(HUG)」を行いました。

訓練全体の参加者数においては、約200人となり、災害に強い町づくりを目指し、防災への関心を高め、参加者の増加に努めます。

新規就農支援

令和5年8月から地域おこし協力隊として、当町での就農を目指し、施設ナスの栽培技術習得に取り組んでおりました夫婦2人が、本年7月末をもって退任となり、8月からは北張研修ハウスで3年間、施設ナスの営農実績を積み、令和10年をめどに自己のハウスを建築し、営農を継続していく計画です。

町としまして、農業振興センターやJAと連携し、営農サポートにあたり、自己ハウス建設に係る適地選定の支援など、地域農業の担い手として定着できるよう取り組みます。

ふるさと納税

令和6年度につきましては、寄附件数が4万4630件、寄附金額は約5億4571万円と、前年度比約153%の増加となりました。

さらに、本年度7月末時点での寄附状況としましては、寄附件数が8240件、寄附金額は9141万円と、前年同期比で約127%となっております。

みんなの夏まつり

夏の風物詩となっている「田野町みんなの夏まつり」は、8月15日にふれあいセンター前広場で開催されました。

当日は、1500人以上の来場者でにぎわい、町内団体をはじめ、露天商やキッチンカーの出店のほか、田野っ子のよさこい鳴子踊り、認定こども園田野っ子の園児による開会宣言、餅投げ、烈士太鼓「燦」キッズによる太鼓演奏、小学生による田野ソーラン、

田野音頭、ミニライブ、よさこい演舞、わくわく抽選会と大変盛り上がりしました。



田野町みんなの夏まつり

CIR・ALTの着任及び退任

当町では、国際理解の促進と英語教育の充実を図るため、JETプログラムによる外国語指導助手及び国際交流員を受け入れておりますが、このたび、7月末から8月初旬にかけて、外国語指導助手としてケイリー・メンデルマンさん(アメリカ)、カラム・クラークさん(イギリス)、また国際交流員としてマイケル・ローさん(アメリカ)が着任し、町内において活動を開始しております。

また、これまで活動していただいた外国語指導助手のアイリーン・ヤマキさん、ジョナサン・ミランダさん、国際交流員のネヴィル・ローシーンさんが7月末から8月初旬にかけて退任されました。地域・学校に対する多大なご尽力に深く感謝申し上げます。



◆ 令和7年度 一般会計補正予算 (第3号)

歳入歳出総額 32億8280万円 補正額 250万円増

補正の主な内容

歳入 地方交付税 250万円 (普通交付税)
歳出 総務費ほか 250万円 (人件費関係)



新しい副町長と教育長が決まりました

副町長の選任

やまなか たいせい
山中 大成 氏 (新)



任期 自 令和7年7月22日
至 令和11年7月21日

教育長の任命について、議案書に記された任期が前任者の残任期間とすべきところを、誤って3年間としていたため、再議に付されました。

再議に付すとは、町長が議会の議決に対して理由を示して議会に審議のやり直しを求めることです。



教育長の任命 (再議)

正しい任期を記した議案書が提出され、臨時会で審議した結果、同意されました。

教育長の任命

たなか のりこ
田中 紀子 氏 (新)



任期 自 令和7年7月24日
至 令和8年6月19日

定額減税調整給付金や
事前復興まちづくり計画策定委託料などに

3950万円を追加



◆ 令和7年度 一般会計補正予算 (第4号)

歳入歳出総額 33億2230万円 補正額 3950万円増

補正の主な内容 (歳入)

地方交付税 992万円 (普通交付税)
国庫支出金 1714万円 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ほか)

補正の主な内容 (歳出)

定額減税をしきれなかった方に
不足額を支給

定額減税調整給付金 1500万円追加



町道中央線の安全確保のため
車止め等を設置

町道中央線周辺整備工事 500万円追加



南海トラフ巨大地震等に備え
事前復興まちづくり計画を作成

事前復興計画策定委託料 614万円追加



倒壊や資材の飛散等の危険がある
町有財産 (家屋) を除却

未活用財産除却工事 562万円追加



ただ 6議員が質す

一般質問

ズバリ

今議会のテーマ

P13

山本 美園 議員

- 新町長の道の駅の構想は
- 道の駅の清掃一体管理は
- 役場の経費削減は
- 新町長の町民の声の拾い方は

P14

山崎 豊子 議員

- 町道中央線の交通安全対策は

P15

神山 大亮 議員

- 学校行事と地域行事の調整は
- スポーツ少年団に対する支援は

P16

西岡 恒雄 議員

- 高規格道路田野町のインターは

P17

桑名 良学 議員

- 二十三士公園の管理は
- 町道松ノ前線の道路舗装工事は

P18

中野 益夫 議員

- ふるさと納税返礼品拡大の展望は
- 寄附金を活用した町単独施策拡充は

町政のここを問う！

解説

一般質問…議員が田野町の行政全般にわたり町長などに対し事務の状況や将来の方針などの説明を求め、所信や疑問を質すこと。

新町長の道の駅の構想は

町長 — 公設民営が望ましい



取りまとめが完了しだい、土地利用計画等の再整備にかかる基本計画の見直しを行うこととしている。
計画の見直し完了後には、議員をはじめ、町の方々に對し、報告できる機会を用意したい。

山本議員
立候補をする段階から町長自身が描いた道の駅の計画、タイムスケジュールは。

坂本町長

地域活性化拠点としての機能が最重要だと考えており、経営的な目線で全体の運営を行う視野も必要と思っている。なるだけ経常収益で賄える規模の施設構成を考えるべきだし、町直営ではなく民間での運営、つまり公設民営による運営が望ましい。

基本となるのは全体構想計画の練り上げであり、年内をめどに庁内での方針を取りまとめる予定である。



再整備で、未来へつながる道の駅へ

道の駅の清掃一体管理は

課長 — 急ぎ人員確保を進める



山本議員

道の駅の清掃を指定管理者が一体管理をしてはどうか。

安岡地域振興課長

道の駅の清掃体制は、開設当初から、駅屋部分を指定管理者が、トイレは役場が管理をしている。

任用職員が8月以降、1人となり、急ぎ追加募集中である。一方で、指定管理者においても人員確保が難しい状況であり、任用職員の確保に速やかに対応したい。

役場の経費削減は

課長 — ペーパーレスを含め検討



山本議員

議会の連絡事項はチャットツールを使い、ペーパーレスを実行中である。光熱費を含め、全課で見直しを。

今井総務課長

現時点では、役場からの連絡事項等は郵送しているが、さまざまな方法がある中で、グループウェアを活用したペーパーレス化については、それぞれの操作性や導入コストの有無、安全性等を踏まえつつ、調査・検討を進めている。

また、光熱水費においても、現在の取り組みを継続しながら、更なる節電対策等に努める。

新町長の町民の声の拾い方は

町長 — 就任2年目・4年目に地区巡回を計画

山本議員
以前は月2回フリートーク、ご意見箱も設置されていたが、新しい方法は。

坂本町長

現在は、「町長への手紙」を実施中だが、通勤や町内移動中にも多くの声がけ、相談を頂いた。言葉の裏には、個々の抱える背景がある。公職に就く者は、それらを推察し考えるべきだと思っている。道の駅の件もあるの

で、就任2年目・4年目に地区巡回を計画したい。

最後に、「どの年齢層にとっても町長が気軽に話しやすい人間」であることが大切であると思っている。

町道中央線の交通安全対策は

課長 — 交通ルールの周知に努める



山崎議員

中央線の制限速度は40キロであるが30キロにするのはどうか。

今井総務課長

高知県公安委員会が、道路交通法に基づいて、道路の構造や交通量、周辺の環境などで定めているものであり、町単独の判断では変更できない。

山崎議員

交通安全対策のための中央線の改修は終わり、ルートも緩やかなカーブ、街路樹も低木とした。より安全性を高めるために他の町道と同じ30キ

ロへの見直しは。

今井総務課長

周辺道路の環境、事故の発生状況、地域の要望等を踏まえ、速度制限がより安全確保につながると判断できれば、速度の見直しの要望はできる。

山崎議員

国道に近い、中央線の東西には量販店、病院、バス停がある。行き来をするのに南北の横断歩道を利用せず移動している。若者、高齢者を問わない。また車の出入りも多い中、どのような交通安全対策が考えられるか。

今井総務課長

町内の交通安全、特に歩行者の安全確保については町も強く意識しているが、道路両側の量販店の出入り口の位置関係、国道沿いの横断歩道か

らの距離などから、横断歩道の新設や付け替えは難しい。一方で、運転者に対する安全意識の向上も重要であり、カラー舗装や路面表示などの実施により、運転者への注意喚起を図ることも一つの対応策であると思うが、横断歩道を渡るといふ交通安全の基本が最も重要であると考えている。

山崎議員

現実には横断歩道は利用できておらず、両方の量販店で買い物をする場合は、ほとんどの方が何気なしに横断している。

足の不自由な方、高齢者の方は歩くのに時間がかかり、南北の横断歩道を利用できない。東西の横断にも苦労している。

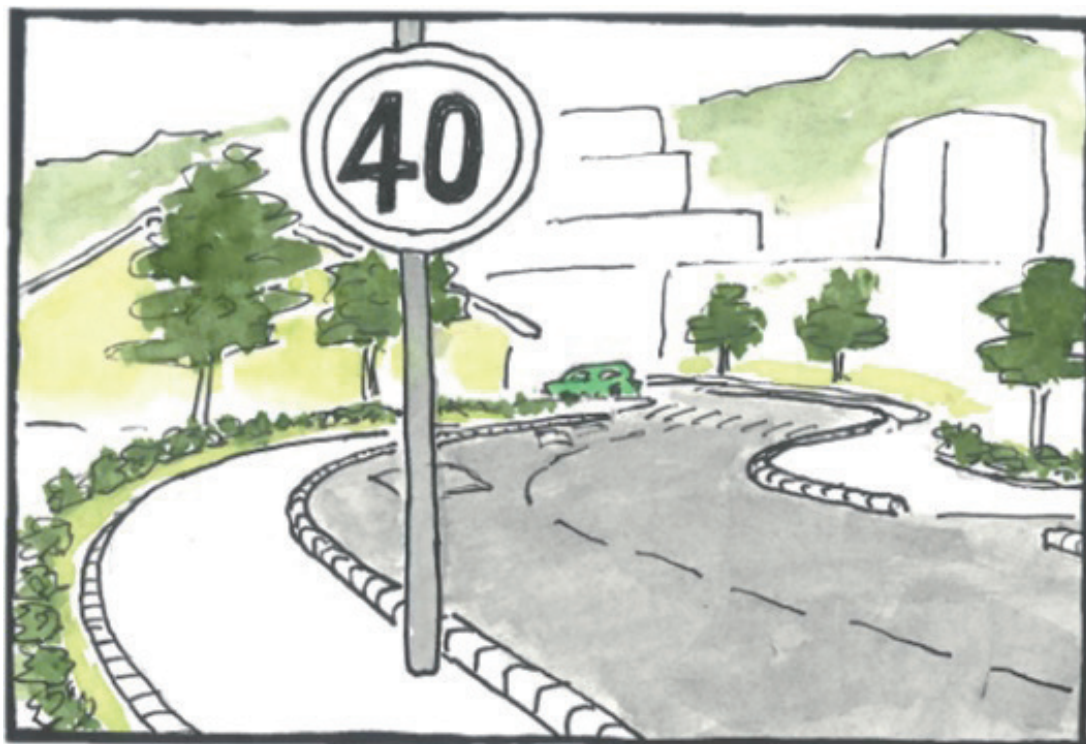
横断歩道のないところでの横断の注意点を聞くと、「とにかく、斜め横断はやめてください。」との話であった。

町としての対策は立てられないか。

今井総務課長

やはり、交通安全の基本である交通ルールを守ることで

最も重要であり、改めて周知等を行いながら、歩行者・運転者双方の安全確保に努める。



コンパクトな町、ゆっくり走りましょう

学校行事と地域行事の調整は

次長——関係機関と協議しながら進めていく



神山議員

本年度、暑さ対策の観点から、小中学校の運動会、体育大会が例年の9月開催から10月開催となった。八幡宮の秋季神祭などの地域行事と日程が重なり子どもたちの参加が難しくなっている。本年度の学校行事を決定する際に調整はできなかったか。

西山教育次長

認定こども園から中学校まで3週連続で土日が埋まるため、暑さ対策の観点からも調整が困難な状況であった。

学校行事は教育課程上の重要な活動であり、安全確保や教育的効果を最優先に検討し

ているが、同時に地域の伝統行事や文化活動も大切にすべきものと考えている。
 今後は学校と地域が早い段階から情報を共有し、可能な範囲で調整が図れるよう努めていく。



また来年、元気な姿を期待



スポーツ少年団に対する支援は

次長——運営主体を鑑みながら必要な支援続ける

神山議員

当町ではスポーツ少年団として空手部と野球部が日々練習に励んでいるが、現在スポーツ少年団に対する支援は補助金の助成以外にあるか。

西山教育次長

青少年の健全育成を目的に活動しており、重要な社会教育団体として地域全体で支えることが必要である。育成補助金の交付のほか、小学校校庭や体育館の無償使用、体育センターの使用料減免、四国大会以上の大会出場の際の旅費の一部助成など行っている。

また、今年度は野球部が復活を果たし、グラウンドの防球ネット工事など施設環境の整備を進めている。

神山議員

それぞれ部費を徴収しているようであるが、道具や設備

などは高額なものも多く、部費だけでは補えていないのが現状のようである。改めて町として整備することはできないか。

西山教育次長

野球部のバツティング用の防球ネットは、今年度中に購入し学校設備として設置する予定である。

しかしながら、スポーツ少年団の運営主体は、団員やその保護者である。公平性や持続可能性を確保するために、消耗品や道具類は基本的に個人負担で、備えていくべきものと考えている。

個人負担と公的支援の役割分担を明確にしながら、社会



未来のスターを目指して練習中

教育、社会体育、青少年健全育成の観点から必要な支援を続け、子どもたちが安心して活動できる環境づくりを地域の方々と共に進めていきたい。

高規格道路田野町のインターは

町長——状況を判断し、適切な時期に判断する



ラ整備は未来の田野町、田野駅、住民のためにも絶対必要と考えているが、整備をした場合、国・県・町の費用負担割合は決定しているのか。

坂本町長

接続するために必要な本線の拡幅については国が行うとされているが、徳島方面から降りるための整備費用については、100%町負担である。

西岡議員

高規格道路が開通するのは20年後、それ以上かかることが予想され、未来を考えたら田野町、田野駅は存在するわけで今の段階で申請しないと判断されるのか。それは未来を捨てることになるのではないか。

坂本町長

阿南から安芸の道路が全線完成することによって県東部の観光客については若干増える可能性はある。中芸地区や徳島側と本州との輸送等につ

西岡議員

4分の3インターの整備要望について考えは。

坂本町長

現在本線にかかる調査及び予備設計が進んでいる。

西岡議員

徳島ジャンクションから田野インターまでの距離は、約110キロ、その大部分が山間部であり、現在開通している奈半利町のトンネルを抜けると川、海、その先に田野駅があるという素晴らしいロケーションとなる。

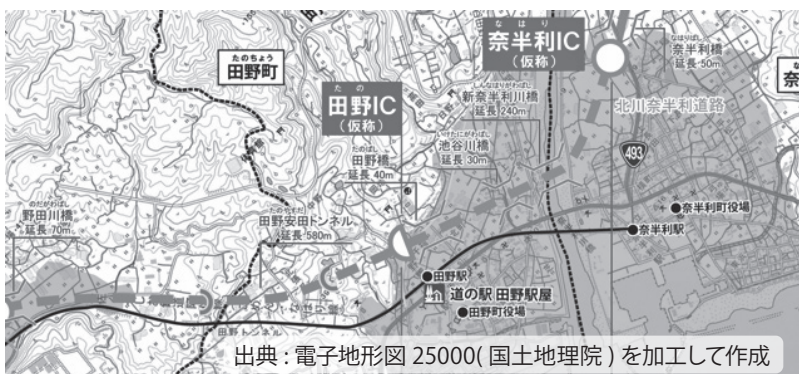
関係人口を増やすためにも4分の3インターは絶対必要である。

今回補正予算で報酬費が計上されている奈半利安芸道路田野工区対策協議会内でも協議していただき、住民の意向等も聞き、熟慮して判断すべきでは。

坂本町長

要望申請をしないということではなく、自治体負担が不透明なことから現時点での申請は行わないわけで、協議会

等で住民の意見も聞き検討していく。



国土交通省 四国地方整備局
土佐国道事務所ホームページ
奈半利安芸道路計画概略図から
一部抜粋

二十三士公園の管理は

課長——公園の維持に努める



桑名議員

二十三士公園は、憩いの場として多くの来訪者が訪れる。そこで公園管理について、次の3点を聞く。

1点目として、公園南側にある壊れた木造の歩道橋の対応は。

安岡地域振興課長

木造の歩道橋については、増水のたびに修繕しており、安全性や維持管理の観点から、撤去を考えている。

桑名議員

2点目「ウメノキゴケ」が付着した桜木の対応は。



二十三士公園の破損した木製の歩道橋

安岡地域振興課長

枯れ枝のせん定や必要に応じた伐採を、適切な時期に実施したい。また、桜の風景を守るため、樹木匠による「樹勢診断」を行い、回復が見込めるか、植え替えが必要かを数年かけた段階的な対応も視野に、公園の維持に努める。

桑名議員

町民や卒業生の記念樹として検討してはどうか。

安岡地域振興課長

3歳ぐらいの中木を植樹し、早い段階で桜が見られるようにしたい。記念樹に関しては、関係機関に話を聞いて検討する。

桑名議員

3点目、殉節の碑、俳諧の碑の管理（清掃）は。

西山教育次長

殉節地碑は、町文化財であり、清掃・維持管理の体制を見直し、今後も適切な保存に努める。また、俳諧の碑については町文化財ではないが、公園の歴史的景観の一部として、清掃や管理を行う。



二十三士殉節地碑

町道松ノ前線の道路舗装工事は

課長——優先順位を決め修繕を行う

桑名議員

町道松ノ前線は、県管理河川である池谷川の護岸兼用となっている町道である。町道の路面には、亀裂や凸凹が横方向、縦方向にできている。事故が発生しないよう、早急な対応が必要では。



西山産業建設課長

町道松ノ前線の約230区間については、以前から凹凸を確認しており、特に亀裂等劣化が著しかった区間（約50程度）は、平成30年度に舗装修繕を実施した。今後も定期的なパトロールによる点検管理に努め、他の町道を含め優先順位を決めて修繕を行う。



舗装が待たれる町道松ノ前線

ふるさと納税返礼品拡大の展望は

課長——寄附急増、広報を強化、業務委託も検討



中野議員

地方自治体財政を支援し地域活性化につながる、ふるさと納税が伸びている。ポータルサイトのポイント還元廃止にともなう、上半期寄附状況返礼品出荷状況、今後の展望は。

10月からのポイント付与廃止の影響が予想される中、4月から8月までの寄附状況は、前年同期比で144%と駆け込み寄附が増加。
返礼品出荷状況は、鯉のタタキ、漬け丼、マグロなど海産物の支持が多い。
今後の見通しとして、ポイ

安岡地域振興課長

10月からのポイント付与廃止の影響が予想される中、4月から8月までの寄附状況は、前年同期比で144%と駆け込み寄附が増加。
返礼品出荷状況は、鯉のタタキ、漬け丼、マグロなど海産物の支持が多い。
今後の見通しとして、ポイ

10月からのポイント付与廃止の影響が予想される中、4月から8月までの寄附状況は、前年同期比で144%と駆け込み寄附が増加。
返礼品出荷状況は、鯉のタタキ、漬け丼、マグロなど海産物の支持が多い。
今後の見通しとして、ポイ

中野議員

副町長——新たな事業財源として活用方法を具体化

ふるさと納税で積み上がる関連基金を医療、福祉、子育て、産業、防災など、納税者の「志」に応えられる施策にどう取り組んでいくのか。
元気で暮らしやすい田野町にしていく施策の拡充は。

山中副町長

寄附額は、令和6年度決算で5億4600万円。一度、基金へ積み立て、近年は2億数千万円、令和6年度では約4億3800万円を取り崩し、当町の産業振興等を目的とした「特産品開発支援事業費補助金」、「認定こども園運営費」、「インフルエンザワクチン接種費助成事業」など、各事業の財源として活用している。

中野議員
寄附の増加で、ふるさと納税業務が大きな負担となる。納税返礼作業、コールセンタールなど、サービスの幅も広がってきている。
付随業務の外部委託など、マンパワー不足を解消する手立てはどうか。

安岡地域振興課長

寄附額、件数が増え、体制を強化していく必要があると考えている。今後は、業務委託も視野に入れ、体制の在り方を検討していく。

寄附金を活用した町単施策拡充は

役場各課においては、有効な財源がないため事業の実施を見送ったケースもあると考える。

国等の補助金と比較すると自由度も高い財源となるため、寄附金を活用した事業概要等を庁内へ示すことで各課の計画立案を促すとともに、併せて予算枠の確保を行うことを検討していく。

新たに何かをスタートするためには、その実施期間、規模、対象などを検討したうえで財政状況や職員のマンパワーの確保もあわせて考慮することが必要となる。

暮らしを支える事業の財源として、引き続き活用するよう進めていく。

中野議員

新たな課題等の施策はあるか。

山中副町長

新たな課題としては、地域としての課題もあるが、物価高騰といった社会情勢も関連するものもある。住民の皆様暮らしを支える事業として活用していきたい。





田野小学校 6年生

ドキドキの議会 傍聴体験



真剣！大人たちの議論に注目する6年生

9月10日、田野小学校6年生の児童19人が、9月議会定例会の連合審査会を傍聴しました。

児童たちは、初めて入る議場に少し緊張した様子でしたが、審査が始まると、議員と執行部のやり取りを、真剣な表情で聞いていました。

児童たちが、政治を身近に感じ、自分たちの暮らしや地域への関心を深めるきっかけになったのではないかと思います。

議会のうごき

主な活動をお知らせします。
なお、行事名は一部省略しています。

7 月

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 2日 安芸郡町村議会議員研修会 | 17日 ごめん・なはり線活性化協議会 |
| 3日 全員協議会・広報編集委員会 | 安芸広域市町村圏事務組合議会 |
| 5日 高知田野会 | 22日 議会広報研修会 |
| 11日 第5回議会臨時会 | 24日 第6回議会臨時会 |
| 奈半利川水利対策協議会総会 | 交通安全町民会議 |
| 14日 四国8の字 四国整備局要望 | 31日 全員協議会 |
| | 市町村議会議員研修 |

8 月

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 3日 中芸広域連合消防大会 | 25日 四国8の字 総会・高知県大会 |
| 5日 四国8の字 国土交通省等要望 | 26日 議会運営委員会 |
| 8日 第7回議会臨時会 | 29日 四国部品誘致町連絡協議会 |
| 議員勉強会・広報編集委員会 | 町村議会議長研修会・県政に対する意見交換会 |
| 15日 戦没者追悼式 | |

9 月

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1日 合同常任委員会 | 12日 広報編集委員会 |
| 全員協議会 | 議員勉強会 |
| 7日 敬老会 | 24日 中芸広域連合議会 |
| 9～12日 第8回議会定例会 | 25日 四国四県町村長議長大会 |

議会を傍聴してみませんか

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されています。今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

定例会は、毎年3月、6月、9月、12月に行われます。

次回定例会は、

12月中旬 開催予定です。

詳しくは、議会事務局まで
TEL 0887-38-6966



ご参加ください

第9回 議会報告会・意見交換会

を開催します

日時 11月21日(金) 午後7時～9時(予定)
(開場 午後6時30分)

場所 ふれあいセンター
2階 多目的会議室

議員に「言いたい!」「聞きたい!」を、お聞かせください。

《編集後記》

二学期も半ばとなり、町内も短い秋を迎えようとしています。

学生時代の思い出といえば、成績は別にして、国語の授業は好きな科目の一つでした。なかでも高校時代の現代文は先生の講義がおもしろく、今でも鮮明に覚えています。

国語が好きであっても、短い文章で簡潔に書くことがなかなか難しいです。

議員という職業柄、一般質問などで文章を書く作業も多いですが、学生時代の記憶をたどり苦戦しつつこの原稿も書いています。

というわけで、今号より委員持ち回りで編集後記始めます。

ぜひ一読していただけると幸いです。

広報編集委員長 神山 大亮

読んでね

